



Activity Report

活動レポート

Vol.16 / 2013.2 発行



オレンジリボン

たすきリレー応援 2012.10.28

ティッシュを東京タワー見物に見えた方々に手渡しました。可愛いお子さんたちが「お願いしまーす!」と声を張り上げて渡すと、ほとんどの方が「あら、可愛い」とうけとってくれます。これまでの経験で、私たち会員は、お子さんたちにチラシ、リボン、ティッシュを補給する後方支援に専念し、朝の10時前から40分ほどで、用意されたリボン、ティッシュなどを配り終えてしまいました。

東京キワニスクラブでも2006年から、児童虐待防止活動に関わってきました。2000年の児童虐待防止法の制定以来、虐待に関する社会の認知の高まりもあり、児童相談所での対応件数も年々増加し、2010年には5万件を超えています。しかし、私たち市民が出来ることは限られていて、東京キワニスクラブでも、オレンジリボンピンを着用や、このたすきリレーでのボランティア活動を行い、社会的な認知を高めることを応援しています。

チラシ配りをして6年目、チラシを受け取る方々の理解も高まっているようです。この火をたやさず、児童虐待を撲滅しましょう。

(堀井紀壬子前会長)

昨年10月28日、日曜日、今年も児童虐待防止キャンペーン、オレンジリボンたすきリレーの応援のため、東京タワーにやってきました。毎年11月は児童虐待防止月間です。児童虐待防止に対する社会的な関心をたかめようと始められたオレンジリボンたすきリレーも第6回を迎え、渋谷→横浜山下公園の都心コース、平塚→横浜山下公園の湘南コース、第5回からは鎌倉・三浦半島→横浜山下公園のコースも加わり、全体で400人のランナーが参加するイベントとなっているとのことです。東京キワニスクラブは第1回から、ちらし配りなどの支援活動を行い、会員や家族がランナーとして参加してきました。

今年も、中村会員のお孫さん、荒木会員のお子さんふたりが参加してください、チラシやオレンジリボン、

キワニスドール製作の状況 2012.10.3～1.31



小児病棟で
子どもたちを見守る
小さな天使

キワニスドールの製作については、このところ、これまでの会員、学校に加え、企業の社会貢献活動の一環としてドール製作を行う会社が増加しております。

このため会員の皆様には、会場での指導や綿分け、型などの材料作成にも多くの御支援、御協力をいただ

き感謝しております。以下最近の製作状況を御報告致します。

まず、学校関係ですが、10月11日に東京家政学院高等学校、10月13日には広尾、板橋、荏原の3看護専門学校



▲板橋看護専門学校

の学校祭でドール製作が行われました。13日は3校同時でありましたが、会員の皆様が手分けをして参加していただきいずれも盛況でした。

11月5日から13日にかけては、**大妻中野高等学校**で7回にわたり高校1年生全員が、型取り、ミシン掛けから開口部の脇とじまで全工程を行いました。総勢240人への指導でしたが、会員だけでなく会員の友人の方々の御助力をいただき大変助かりました。

1月19日は**田園調布学園**でしたが、同校は毎年前期、後期で合わせて2回キワニスドールの製作を続けているという実績があります。このため、昨年、キワニス奉仕賞をお贈りいたしましたところ、この褒賞金で家庭部のクラブバッジ、クラブハンコウ、秋の学園祭のためのパッチワークによるクラブパネルの材料などの購入ができ、感謝しているという報告を当日いただきました。

企業関係では、各社のCSR部門が中心となり、キワニスドールの製作に参加される会社が増えております。10月10日、16日には**UBS証券**で、10月17日、11月28日、1月31日には**東京海上日動火災**でドールを作る会合が開催されました。

さらに、社会貢献プログラムという形で、10月24日に**JCB**で、11月28日には**アクセント**で日本フィランソロピー協会の仲介でドールを作る会を開催



▲田園調布学園でのドールをつくる会

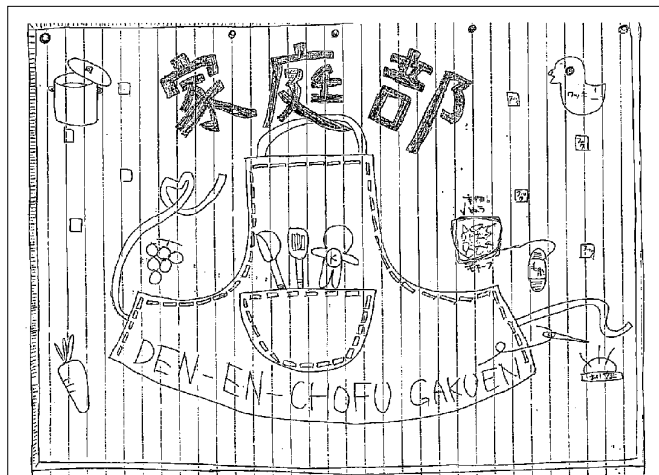
いたしました。**JCB**では、12月5日に企業のCSR関係者の会議の前に出席者を対象としたキワニスドールを作る会を開催していただきまして多くの企業に周知することが出来ました。

その後、1月24日は**パナソニック**で、1月29日には**積水化学工業**でドールを作る会を開催し、参加企業は6社になっており、さらに、他の企業からの問い合わせもあり、今後この形も増加する状況で対応を考えることが必要です。

一般ボランティアを対象にしたドール作りを、10月3日、1月24日に、東京駅近くの**パナソニック**の会議室で開催いたしました。ミシン、アイロン等も持ち込み型取りからくけ縫いまでの一貫作業を実施致しました。また、当クラブ会員によるドール作りを11月16日、1月18日の例会終了後に行いましたが、材料不足の状況に対応するために綿分けを頑張っていたいただき助かっております。

昨年度は、おおよそ1700個のキワニスドールを製作、寄贈致しましたが、主な寄贈先は、東京大学医学部附属病院、東京ベイ浦安市川医療センター、成育医療研究センター、北里大学病院となっております。ご紹介いたしましたようにキワニスドールを作る参加者が企業、学校とも増加しておりまして余裕も出てきました。会員の皆様の中で小児科の医師や看護師のお知り合いがいらっしゃらばキワニスドールのPRをしていただければ幸いです。

(高坂和夫ボランティア活動委員長)



東京キワニスクラブの皆様へ

昨年6月16日に、「キワニス奉仕賞」を頂き、ありがとうございます。褒賞を記し、頂いた褒賞金でクラブバッジ、素朴なハンコを大切に作る種類、そして「クラブパネル」(150x100mm)をパッチワークで作る材料を購入していただきました。クラブパネルは2013年度の「おどろ祭」(9月28日、9月29日)で展示できるように作製しております。ぜひご来校下さい。キワニスドール作りという貴重な体験をさせてください。感謝いたします。家庭部では部長・会計などの引継ぎが完了し、新たな学年(現高1)で活動を始めております。なかでもキワニスドール作りに参加させていただきたいです。いざ始めようと思っておりますが、どうぞよろしくお願いします。本日はお返事頂きありがとうございます。

田園調布学園 中等部・高等部
家庭部 一同

2013年1月(9日)



▲奉仕賞の褒賞金でつくったバッジ

▲田園調布学園からのお礼状

企業での「キワニスドールをつくる会」に参加して 2012. 11. 28

11月28日の東京海上日動火災で行われた「キワニスドールをつくる会」に参加しました。企業の社会貢献プログラムの一環として実施されている会に出席するのは初めて、というよりも「キワニスドールをつくる会」自体の参加が二度目です。昨年2月27日の「新入会員オリエンテーション」で星会員のご指導で綿づめ体験をし、その後やったのは綿分けだけという分際で10月13日の広尾看護専門学校での会が初参加という状況でした。

会場は満席状況で、予想以上に多くの社員さん方が参加されていることに先ず驚きました。女性が圧倒的に多いのは想像していたとおりです。主婦層の方も多

いのか皆さん大変手際が良く、堀井前会長がおっしゃるような、自分が詰めるのではなく指導するなどということは、気が小さくてニアリイ初心者の小生にはとてもできません。それでも、自分自身が綿づめを始めていると遅れて来られた方が隣に着席されたので、足、手、頭、胴体への綿の量の配分や細かくちぎって均等に詰めること、各部位への詰める順序、首のところで折れないようになどと一応の説明をしました。多くの社員の方の参加は嬉しかったし、キワニスドール製作の作業にもっと手馴れ次回参加の際は少しでも進歩したいと思います。

(石井亜佳里レクリエーション委員長)

大妻中野高校でのドールをつくる会に参加して 2012. 11. 5

昨年11月5日、私は、大妻中野高校での「ドールをつくる会」に参加しました。ドールの作り方の演習と事前の綿詰め作業に参加したことはありましたが、実際の現場は初めてでした。同高校のある東中野は、若い時に家族と住んでいたの、街並みが懐かしいものでした。

午前2時間の家庭科の授業の間に、生徒一人一人が布を裁断し、ミシンで縫い合わせ、人形の形に仕上げるわけです。家庭科の先生が非常に熱心で、学校も家庭科の正規の授業として取り入れているそうです。同校でのつくる会は、11月5日を皮切りに5日間も実施されました。

生徒は、40人程でありましたが、皆熱心に高坂ボランティア活動委員長の話を聞き、作業に取り組み始めました。途中で分からないことがあると、キワニスの

指導員に聞きに来るわけですが、私は、そのたびに「高坂さん！ 堀井さん！」と助けを求めるだけでありました。もちろん、色々の雑用は立派に(?)こなしたつもりであります。

感想を2つ。

- (1) ドール作りが生徒たち全員の興味を引いており、中には、自分もキワニスの会員になりたいと、堀井さんに申し出た生徒が2人もいました。
- (2) 事前の綿の袋詰め、就中、人形の形への縫製が実に手間がかかります。今は有志会員の奥様や友人の善意をお願いしていますが、これから今のペースでつくる会が増えていくと、この点を組織的に解決することが緊要です。

(藤原武平太副会長)



竹下景子さん キワニスドールを紹介 2012. 12. 20

昨年12月20日、小児がんの子どもたちのためのチャリティ公演「ごえんなこんさあとー竹下景子さんとともにー」が、さいたま文化センターで開かれました。これは、NPO法人「朴(ホウ)の

会」主催、パソナ、龍野コルク工業協賛、毎日新聞社後援で開催されたもので、東京クラブから6名、埼玉クラブから12名が参加しました。ホールにはコーナーを設け、キワニスドールの展示、パネルでドールの活用状況を案内しました。

朴の会は、小児がんの子どもたちのために、「ごえんなこんさあと」の収益金、会場での募金を「がんを守る会」等に寄付し、自らも小児がんの子どもたちのための活動を行っている団体で、女優竹下景子さんはその有力理解者の一人です。この会に私の高校の同級



生がおり、同期会でお互い子どもたちのための活動をしていることがわかり、「協力できるものがあるよな」がご縁の発端です。

その後、チャリティコンサートが埼玉

であるとの話があったので、キワニスドールの話をしたところ、副理事長の筧さんが大変興味を持たれ、コンサートで紹介できることになりました。時間が迫っておりましたが、プログラムに東京クラブのドールパンフレットを差し込むことができ、埼玉クラブの遠藤さんの多

大なご協力で、キワニスドールの展示、パネル紹介までトントン拍子に話が進みました。

「こんさあと」第1部は、フルート演奏、歌などのステージ、第2部は「景子を選ぶラブラブわたしのお気に入り～映画編」で体験談を交えたトークが大うけでした。第3部は、朗読とピアノと映像による「葉っぱのフレディ・いのちの旅」で実演での臨場感は素晴らしいものがありました。

最後の花束贈呈で、竹下景子さんがキワニスドールを手にとって、入院中の子どもたちを助け、癒しを与えていることを紹介してくださいました。これからもこの支援活動に力を注いでいきたいとの決意表明で終わりました。キワニスドールが、大舞台で多くの人の前で紹介されるのを見て、ホロっとし、このご縁に感謝した次第です。

この催しは1月16日に「ウインクあいち」でも行われ、名古屋クラブから4人が参加され、埼玉同様、キワニスドールが紹介されたと聞いております。

このようにキワニスドールのご縁が広がっていることを嬉しく思います。これは多くの皆様にご協力をいただいたお蔭であり、心から御礼申しあげる次第です。ありがとうございました。

(星利樹キワニスドール・シニア・アドバイザー)

自治医科大学附属病院におけるキワニスドールの使い方

自治医科大学附属病院緩和ケアの看護師さんからキワニスドールの使い方について、お便りをいただきました。

とてもあたたかみのあるドールで、子どもたちも喜んでいました。親が病気で不安も沢山ありますが、ドールを使わせていただくことで、具体的に治療を知ることが出来、良かったのではないかと思います。今後ともよろしく願います！

1. 今回の使用目的

CLIMB®(親ががんの子ども達のためのサポートプログラム)の一環としての「点滴体験」に使わせていただきました。

2. 今回の使用方法

子どもたちに自由に顔や身体を描いてもらってから、ひとりひとり点滴を刺してテープを貼るところまで体験してもらいました。

3. 今回使った人

小学生3名、中学生2名

4. 使用した人の感想、要望など

親がどのような治療をしているのか実際に知ること、子ども達の中で安心感をもてたようです。人形は持ち帰りさせています。

キワニスドールが紹介された

(1) みなと区民まつり

昨年10月6日、7日に開催されたみなと区民まつりの中で、堀井前会長の友人が参加されている「CC3期会」のブースでキワニスドールが紹介されました。



(2) 田園調布学園の学園ブログ

田園調布学園のブログにおいて、1月19日に「土曜プログラム「キワニスドール作り」講座」としてキワニスドールが紹介されました。



ELIMINATE

Kiwanis eliminating maternal/neonatal tetanus



世界奉仕プロジェクトとして国際キワニス全組織を挙げて取り組んでいるエリミネイト・プロジェクトとは、母子破傷風 (maternal/neonatal tetanus) をこの世界から完全に撲滅することを目指してスタートした運動で、3年目になります。

昨年12月19日に日本地区クラブ・コーディネーター Web 会議が開催されました。

日本全体では、初期の目標に対して103%の達成率となっていること(実際の寄付額と寄付する約束とをプラスした額)、既に活動の成果が出ており当初40カ国だった対象国のうち9カ国が免疫国となっていることなどが報告され、また、今年度ゼラー賞およびヒクソン・フェロシップなどの申請人数を増加させることや募金活動の多様化を図ることなどの重点方針が確認されました。今後も情報共有を図りアイデアを出し合いながら各クラブそれぞれの目標達成に向け取り組んでいくこととしています。

キワニスクラブにとってこのプロジェクトを進める意義は何でしょうか。

一つ目は同胞アジアの子どもたちを救うこと、二つ目に日本は破傷風撲滅のパイオニアであり先達の高い志を受け継ぎ世界に貢献すること、三つ目は社会にインパクトを与える活動としてクラブの社会的認知度を高めることです。(2012.9.14北里日本地区コーディネーター例会卓話から。)

当クラブはこのプロジェクトの趣旨を踏まえいち早くモデルクラブ(一人当たり\$750)並びに100Kクラブ(10万ドル) 抛出達成を宣言し、以来ファミリー

エリミネイト・プロジェクトの推進

デー、新年互礼会や例会時での募金呼びかけ、3回目となるエリミネイト支援コンサート、ゼラー賞やヒクソン・フェロシップへの抛出のお願いなどなどを通じ、着実に実績を上げています。

募金は、チャリティ・イベントなどの機会を通じ広く社会の皆様にもお願いをしておりますが、まずは会員ならびにご家族のご支援が第一です。

2017年までの長期に亘る活動であり、折に触れお願ひする機会が多いと思いますが、宜しくお願ひいたします。

毎日160人もの赤ちゃんの命を奪っているMNT(母子破傷風)のELIMINATE(撲滅)に取り組むモデルクラブの宣言を誇りにし、確実に実現させましょう。

(松本一紀エリミネイト・プロジェクト・クラブ・コーディネーター)



文化委員会におけるエリミネイト・プロジェクトの支援

文化委員会でいろいろ検討した結果、チャリティコンサート等(千代田クラブ等の共催)を考えましたが、日程、場所など問題があり、大々的なコンサー

トは厳しい。

そこで、少しでも早く協力するには、各種コンサートに便乗して、寄付金を集めることだと考えました。

第1弾として、戸田弥生さん（福井県出身）のヴァイオリン・コンサートを、安永会員のご協力を得て（チケット代の一部を寄付）、16名（千代田クラブ4名）の参加をいただきました。第2弾として、スピカ・コンサート（日本の音楽家を育て応援する団体）の協力で、クーベリック・トリオ20周年記念コンサート（石川静女史は日本でも高名な方）に19名のご参加がありました。

エリミネイトに対する深い気持ち、応援のため、
・額は大きくありませんが、エリミネイトの趣旨を広め
・コンサート、主催者にも支援の輪が拡がり
・文化活動に対する幅広い理解をしてもらうために
これからも機会を見て企画したいと思います。

皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

（西村清邦文化委員長）

「慰霊の泉」 秋季清掃会活動報告 2012. 11. 13

昨年11月13日、「慰霊の泉」秋季清掃会が行われました。総勢12名の参加者があった由、私は初めてでもあり開始予定の午後2時前に伺いましたが、高坂ボランティア活動委員長は勿論、既に殆どの皆さんは参集済み、自発的に夫々で場所を分担、作業に取り組んでおられました。秋は先づ落ち葉の清掃からとは



いえ落葉が本格化する前とて量は左程ともいえませんが、生け垣の上、下など取りにくい所も丁寧に手でかき集めておられる様子で、この奉仕が根づいていることを実感致しました。

慰霊の泉のことは、義父である北野から屢々その建立の謂われなど聞いておりましたが、私自身、戦後の復興と共に成長してきたことを思えば、その礎となって祀られている方々への感謝と共に現在の平和な社会の保全・発展に責任を自覚せざるを得ません。この思いは主義、思想、信仰を超越したものであると考えています。戦後生まれ乍ら幼少時、進駐軍に実家を接収され半分に仕切って暮らしたこと、社会人となってからは様々な国で勤務した折に海外から母国を眺め、その時には日本が確として在るが故に個人としてもホストカントリーで略々真っ当に受け容れられたことの恩恵を痛感したことが、その思いを更に強くしています。

清掃奉仕を終えて少し清々しい思いをしつつ、その様なことを考えながら歩いていると、平河町のオフィスまで知らぬ内に歩き通してしまいました。

（小池明会員）

一般社団法人への移行後、初の定時総会開催 2012. 11. 30

昨年11月30日、一般社団法人移行後、初めての定時総会が、法曹会館高砂の間で開催されました。議題は、一般社団法人移行前の一年間の事業報告・収支決算と年度当初の貸借対照表の審議でした。定款に基づき、緒方会長が、議長となり開会を宣言し、古屋事務局長から出席者数77名、議決権行使書数提出70名、合計147名で総会が有効に成立していることが報告されました。

まず、第1号議案「平成24年9月期事業報告書並びに収支決算について」の内容について、古屋事務局長から資料に基づき一年間の事業報告、平川財務委員長から収支決算報告が行なわれました。

続いて、大澤監事から監査の結果について計算書類及び事業報告並びに付属明細書は正しく示されてい

るとの報告がありました。

以上について、一括審議に入りましたが、質問、意見等も無く満場一致で承認されました。

また、第2号議案「一般社団法人東京キワニスクラブの貸借対照表（平成24年10月1日）について」は、平川財務委員長から説明があり、質問、意見も無く満場一致で承認されました。

以上で議事は終了し、緒方会長（議長）が閉会を宣言、終了しました。

今回の定時総会は、社団法人移行前の一年間の実績と結果を審議するものでしたが、先の定時総会（昨年9月21日）において承認された今年度の事業計画・収支予算については、緒方会長を中心に次期会長候補の藤原会員を含め20名の理事、3名の監事で進め

ていくこととなります。将来に向けて様々な課題を抱えながら、来期のクラブ設立50周年記念事業の準備

も含めて社会奉仕活動のさらなる充実を期待したいものです。
(古屋俊彦事務局長)

長崎キワニスクラブ認証状授与式・祝賀会に出席して 2013. 1. 25

昨年9月4日、九州で5番目、全国では29番目のクラブとして設立された長崎キワニスクラブに対する国際キワニス本部からの認証状の授与式と祝賀会が、1月25日長崎で開かれたので、東京クラブを代表して、古屋事務局長、片山会員とともにお祝いに行ってきました。

会場は、グラバー邸のすぐ傍のANAクラウンプラザホテルで、来賓として田中長崎県副知事、大串こども政策局長、馬場長崎市教育長、渡辺NHK長崎放送局長などが臨席され、キワニスクラブからは北里ガバナー、齋藤前ガバナー、吉田事務総長、小池KJF理事長のほか、東京、横浜、高松、福岡、京都、熊本、鹿児島、大分の各クラブの代表者が出席しました。

長崎クラブは大堀哲会長、松藤章喜副会長、福富卓会計監事、武富宏邦事務局長以下26名のメンバーが勢ぞろいして総勢100人近くの盛会でした。

授与式では大堀会長の挨拶のあと、設立時のガバナーであった齋藤前ガバナーから国際本部の認証状が大堀会長に手渡され、北里ガバナーと田中副知事からの祝辞、祝電披露があり、引き続き祝賀会となりました。冒頭、銅鑼、太鼓、ラッパの音とともに会場一杯

に地元長崎女子高生のグループによる「龍踊」が登場。二匹の龍がそれぞれ10人の生徒に支え



られ、一つの玉を競り合う中国起源の踊で、たちまち会場は長崎のお祭りの気分になりました。この高校には「蛇踊部」があって、普段から練習を重ねているようで見事なものでした。

乾杯のあと懇談となり、席を離れて行き来する人も増え祝賀会は大いに盛り上がりました。

最後に、来る3月のASPAC広島大会の際に行われる国際理事の選挙に立候補している熊本クラブの清重尚弘元ガバナーの必勝を期そうと、同氏の音頭で万歳三唱をして和やかなうちに閉会となりました。

長崎クラブのこれからの益々のご活躍と発展を心からお祈りいたします。
(緒方謙二郎会長)

平成 25 年新年互礼会 2013. 1. 11

1月11日(金)午後5時30分から、新年互礼会が銀座7丁目のサッポロ ライオン クラシックホールで開催されました。

当日は、厳しい冷え込みにもかかわらず、会員、パートナー90名の方々が参加されました。



緒方会長の新年のご挨拶及び力強い決意表明のあと、巳年生まれ(年男)の会員の皆様による鏡開き、引き続き、年男(女)を代表して米澤潤一会員の御発声で乾杯して懇談となりました。

暫くの歓談の後、リージョン・オブ・オーナー(国際キワニスからキワニス在籍25年以上の方々)が5年毎に表彰される)の表彰伝達が行われ、当日出席された大堀太千男様、小笠原建夫様、安田和義様(いずれも在籍25年)に、緒方会長から賞状と特製ピンが授与されました。当日欠席の永井弓彦様(40年)、荒井好民様(35年)も表彰されています。続いて恒例の福引が行われ、例年通り笑いと拍手で大いに盛り上がりました。

中締めは藤原副会長。政権はコータイ(交替)、景気はコータイ(後退)を脱して回復ムードが漂う中、会長、副会長のあいさつや出席者の会話にも明るさを感じられる新年の幕開けでした。

(吉國眞一事業企画委員長)

2012年10月から2013年1月までの活動

2012年 10月	2	火曜会	
	3	キワニスドールをつくる会(パソナグループ会議室)	
	5	第2132回例会(講師:前野博紀氏)	
	5	新旧役員懇親会(電気倶楽部)	
	8	秋季ゴルフ大会(箱根湖畔GC)	
	9	火曜会	
	10	UBS証券(株)キワニスドールをつくる会	
	11	第47回日本酒を楽しむ会	
	11	東京家政学院中学校・高等学校キワニスドールをつくる会	
	13	荏原看護専門学校学校祭キワニスドールをつくる会	
	13	広尾看護専門学校学校祭キワニスドールをつくる会	
	13	板橋看護専門学校学校祭キワニスドールをつくる会	
	16	火曜会	
	16	UBS証券(株)キワニスドールをつくる会	
	17	東京海上日動火災保険(株)社会貢献プログラム ドールをつくる会	
	18	エリミネイト支援、福井クラブ新設応援ヴァイオリン・リサイタル	
	19	第2133回例会(講師:吉田勝昭氏)	
	19	第60回囲碁愛好会	
	20	静嘉堂文庫美術館「受け継がれる東洋の至宝 Part II」	
	23	火曜会	
	24	JCB社会貢献プログラム ドールをつくる会	
	25	宝塚観劇会宙組公演	
	27	エリミネイト支援第2弾 ケーベリックトリオ・コンサート	
	28	児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー	
	30	火曜会	
	11月	2	第2134回例会(講師:福井真紀子会員)
		3	埼玉クラブエリミネイトプロジェクトチャリティディナーショー
		5	大妻中野中学校・高等学校ドールをつくる会
		6	火曜会
		8	大妻中野中学校・高等学校ドールをつくる会
8		第48回日本酒を楽しむ会	
9		大妻中野中学校・高等学校ドールをつくる会	
11		第19回落語を楽しむ会	
13		大妻中野中学校・高等学校ドールをつくる会	
13		慰霊の泉秋季清掃会	
13		火曜会	
15		大妻中野中学校・高等学校ドールをつくる会	
16		第2135回例会(講師:歳川隆雄氏)	
16		キワニスドールをつくる会(例会場)	
16		第61回囲碁愛好会	

2012年 11月	19	第59回国際懇話会(講師:古森義久氏)	
	20	火曜会	
	22	第13回ワインを楽しむ会	
	27	火曜会	
	28	東京海上日動火災保険(株)社会貢献プログラム ドールをつくる会	
	28	アクセンチュア社会貢献プログラム ドールをつくる会	
	29	宝塚観劇会雪組公演	
	30	第2136回例会(講師:井上亮氏、定時総会)	
	12月	4	火曜会
		5	JCB社会貢献プログラム ドールをつくる会
7		第2137回例会(講師:室伏良香会員)	
8		第35回文楽を楽しむ会(鑑賞教室)	
11		火曜会	
12		埼玉クラブ夜間例会	
13		第49回日本酒を楽しむ会	
15		忘年囲碁大会と忘年会	
16		小児がんの子どもたちのためのチャリティ公演	
16		第35回文楽を楽しむ会(文楽公演)	
2013年 1月	18	火曜会	
	20	横浜クラブ年忘れ家族特別例会	
	21	第2138回例会(講師:池川明氏)	
	29	第九を聴く会(サントリーホール)	
	5	新春大歌舞伎(新橋演舞場)	
	11	第2139回例会(新年互礼会)	
	15	火曜会	
	18	第2140回例会(講師:清水公也氏)	
	19	田園調布学園キワニスドールをつくる会	
	22	火曜会	
22	第63回囲碁愛好会		
24	キワニスドールをつくる会(パソナグループ会議室)		
25	長崎クラブ認証状授与式祝賀会		
27	大相撲初場所観戦会		
29	火曜会		
29	積水化学工業(株)社会貢献プログラム ドールをつくる会		
31	宝塚観劇会星組公演		

2013年2月から5月 今後の予定

2013 年 2 月	1	第 2141 回例会キワニス・ユース・フォーラムの紹介 各団体による活動報告
	4	千代田女学園高等学校でのドールをつくる会(授業)
	5	火曜会
	10	第 36 回文楽を楽しむ会
	12	火曜会
	12	第 60 回国際懇話会(講師:菅野雅明氏)
	14	第 50 回日本酒を楽しむ会(利き酒会)
	15	第 2142 回例会キワニス・ユース・フォーラムの紹介 各団体による活動報告
	16	静嘉堂文庫美術館「受け継がれる東洋の至宝 Part III」
	17	第 36 回文楽を楽しむ会
	17	金町学園ドールをつくる会
	18	千代田女学園高等学校でのドールをつくる会(授業)
	19	火曜会
	21	東京海上日動火災保険(株)社会貢献プログラム ドールをつくる会
	21	宝塚観劇会月組公演
	21	第 14 回ワインを楽しむ会
	23	第 1 回バレエ鑑賞会「ジゼル」
	24	第 36 回文楽を楽しむ会
	25	JCB 社会貢献プログラム ドールをつくる会
	26	火曜会
	26	第 64 回囲碁愛好会
	26	東京海上日動火災保険(株)社会貢献プログラム ドールをつくる会

3 月	1	第 2143 回例会(講師:木藤繁夫会員)
	5	火曜会
	7-9	第 38 回 ASPAC 広島大会
	11	新入会員オリエンテーション
	12	火曜会
	14	第 51 回日本酒を楽しむ会
	15	第 2144 回例会(講師:間淵豊氏)
	17	第 20 回落語鑑賞会
	19	火曜会
	20	第 1 回オペラを楽しむ会「アイダ」
	21	第 61 回国際懇話会(講師:藤崎一郎氏)
	26	火曜会
	26	第 65 回囲碁愛好会
	29	第 2145 回例会(講師:末綱隆会員)
	4 月	2
5		第 2146 回例会(講師:愛甲次郎氏)
6		キワニスワンデー
9		火曜会
11		第 52 回日本酒を楽しむ会
16		火曜会
18		宝塚観劇会(花組公演)
19		第 2147 回例会(講師:馬場典子氏)
23		火曜会
23		第 66 回囲碁愛好会
25		歌舞伎座柿葺落四月大歌舞伎
5 月	7	火曜会
	9	第 53 回日本酒を楽しむ会
	14	火曜会
	16	宝塚観劇会(宙組公演)
	17	第 2148 回例会(講師:岩谷英昭氏)
	21	火曜会
	28	火曜会
	25	第 67 回囲碁愛好会
31	第 2149 回例会 第 64 回ファミリーデー	

■平成 25 年 1 月 31 日現在 総会員数 229 名

■平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 1 月 31 日までに入会された方 8 名

杉本豊、高瀬経秀、横田捷宏、阿部友昭、鈴木祐二、末綱隆、木藤繁夫、藤井進

キワニスドールとは

身長約 40cm で体重約 50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子どもたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気の子どもの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用実例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウムを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成 18 年 7 月 14 日に、商標登録いたしました。

エリミネイト・プロジェクトについて

キワニスはユニセフと共同で世界から母子破傷風を撲滅する活動を展開しています！

2015年までに1億1千万ドルを募金し、6,100万人の母子の命を救う活動です。日本のキワニスクラブはこの活動に賛同し、募金活動を行っております。

母子破傷風についての基本データは

- 破傷風は、9分に1人、毎日、160人の赤ちゃんの命を奪っている。
- UNICEFでは、2000年からこれまで20か国で母子破傷風の撲滅に成功し、残る40か国での撲滅を国際キワニスとUNICEFが協力して行い、世界からの撲滅を目指すこととなった。
- 破傷風ワクチン3回を妊産婦に注射すれば赤ちゃんまで免疫が得られる。
- 1回60セント、計3回1.8米ドル(約140円)の注射で母と将来の赤ちゃんの命を守ることが出来る。

エリミネイト・プロジェクトは、6,100万人のお母さんと赤ちゃんを助けることが出来ます。

ELIMINATE

Kiwaniis eliminating maternal/neonatal tetanus



日本は破傷風撲滅の先駆者—誇りを持ってこの活動を推進しよう！

破傷風撲滅というと、日本にはあまり関係がないと思われる方もいるかと思いますが。実は、破傷風菌と戦い、世界に先駆けて、破傷風菌の純粋培養に成功し、破傷風の免疫体を発見し、血清療法を確立したのは、日本の細菌学者北里柴三郎博士でした。日本はこの分野での世界の先駆者です。今回のキワニスクラブでの母子破傷風の撲滅に対するエリミネイト・プロジェクトのスタートに当たっては、既に北里研究所と北里大学より、2011年の日本地区千葉大会での特別講演等も含め特別の支援を受けています。日本地区は誇りをもってこの活動を推進しましょう。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どもたちのために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どもたちのための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Num-Kee-Wan-is”(みんな一緒に集まる)に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約80ヶ国、8,000のクラブ、約23万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、渋谷、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎の順に生まれ、現在29のクラブで会員は約1,600名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。2012年10月1日に一般社団法人に移行しました。

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 緒方 謙二郎 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwaniis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>